

土を持ち込む方へ(お願い)

土壌分析は2ミリのふるいを通した乾燥した土を用いて行います。

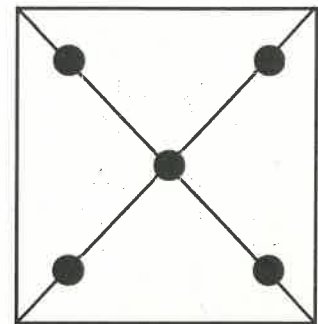
持ち込まれた土が湿っている場合は、乾燥させてふるいを通すといった土の調整に時間がとられ、なかなか分析ができません。

よって土の持ち込みは、できるだけ乾かして砕いた状態でお願います。

サンプリングの方法

採取地点

ほ場に対角線を引き、図のように5ヶ所から採取します。
比較的均一と思われる場合は3箇所でもよいです。



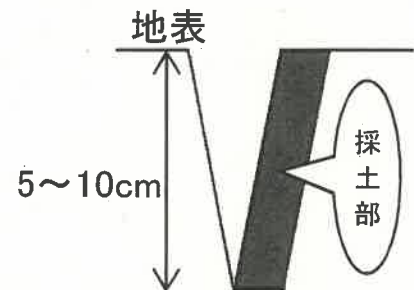
採取地点例

採取方法

おおむね地表下0~15cmの部分から採取します。
ほ場の数地点から同量の土を取りしっかり混ぜ合わせて
サンプルとします。

調整方法

採取した土壌は乾燥させます。
このとき、大きな塊は砕いてください。
乾燥後、ふるいのある方は2ミリのふるいをかけます。



移植ベラでの採取例

調整量

分析必要量は100g程度なので、調整量は茶碗で1杯分位とします。
普及センターには残土を処分する場所がありませんので、余った土壌は返却して
おります。必要量のみ持ち込んでください。



持ち込み点数が多い場合や、状態の悪い土の場合、
分析に1ヶ月程度の時間をいただくことがあります。
分析順番も土の状態により前後しますので、ご了承ください。

大河原農業改良普及センター